

# 一般質問(要旨)

小安 勝

## 安心安全対策について

**問** 多くの市民の方から、狛江市は他市と比較して町が暗いとの声が寄せられた。町が明るければ犯罪の抑止効果もあり、何よりも歩行者に安心感を与える。そのために街路灯の増設、照度のアップ、維持・管理対策は緊急課題であるが、その対応について。

**答** この10年間で街路灯417基を増設。要綱で20ワット蛍光灯のところを32ワットに49カ所変更。水銀灯もナトリウム灯に改善。夜間の犯罪を起りにくくするため、門柱灯、玄関灯の点灯運動を生活安全対策協議会で協議しながら、全的に取り組んでいきたい。

## 市長の政治姿勢について

**問** 行財政水準のレベルアップと市民要望の実現、まちづくりの推進を図るとする予算が編成されることになっているが、①各部の裁量を重視していくとある枠配当予算の取り組みとその決定②新たに設ける政策調整会議の機能と組織構成について。

**答** ①一次経費である行政運営経費、義務的または経常的経費を、18年度当初配

当額を基本に配当し予算編成に当たっている。②政策調整会議は市長、担当部長、企画財政部職員が、基本的には実施計画事業である二次経費について検討するもの。

## 道下 勇

## 市長が招いた財政破綻からの再建策について

**問** ①税源移譲も含め19年度の歳入状況の見直しは②税源移譲で市税の増額と比例して大事なのが徴収率である。市長の知恵を出した徴収率向上の指示について③19年度地方交付税の法定率分の狛江市の状況について④提案をしてきた包括予算制度の検討状況について。

**答** ①市税は18年度比較で4億9000万円増を見込む②今年度前半に都から徴収対策の指導等をいただき、そのノウハウ等を活用する③国税の増により法定率で算定される交付税総額は拡大するが、その使途は国で協議中④必要性は認識。引き続き検討し研究したい。

## 子育て支援について

**問** ①義務教育就学児医療費助成事業について、東京都の制度に合わせ19年度で実施を望むが②市民の要望が多い出産育児一時金の受領委任払い制度の検討状況は③出産育児一時

金の増額について、小金井市が19年度40万円支給予定のようだが、狛江市も多摩一番を望むが、①19年度予算編成の中で検討していく。②できるだけ早く実施する。③18年度に30万円を35万円に引き上げたばかりで、厳しい国保財政を考えると大変難しい。

急貸付」として一本に改善せよ。利用される市民が混乱することのないよう今後改善していく。

## 道路整備計画について 市長の政治姿勢を問う

**問** 緑野小学校への通学路対策、特に市道32号線関連の整備の対応にかなり問題を残したが、その問題指摘の前にここ数年の市道整備は、市道総延長116kmのうち年平均0.7kmのみ、こうした実態を踏まえ、今後の市長の考え方、予算づけの方針はどうか問う。

## 放課後児童健全育成事業と保育所のあり方について

**問** ①答申書の取り組みについて②学童保育所6カ所のうち5カ所が定員割れしている状況について③小学生クラブの拡充策について④放課後クラブとフリープレイのおやつの問題を教育長と市長はどのように考えるか⑤国が19年度実施の放課後子どもプランについて。

**答** ①尊重する方向で努力②地理的なものや小学生クラブへの希望がかなり多いと推測③施設拡充を予定④違う歴史・伝統を持ち同じ場所に入っている。どちらをとるか引き続き検討課題と考える⑤都と各市の状況等を勘案し、関係部と今後の進め方について調整を図る。

## 西村 雅司

## 現在の緊急支援資金貸し付け制度の貸し付け項目を緩和せよ

**問** この制度は生活困難な市民で緊急に資金が必要な方に8万5000円以内を貸し付けるのが主だが、貸し付けは医療資金、出産資金、生活資金に限定される。しかし医療資金も出産資金も生活資金であり、市民が利用しやすく「生活資金緊

急貸付」として一本に改善せよ。利用される市民が混乱することのないよう今後改善していく。

ルの充実、市民の安全に関する意識高揚の取り組み等多くの課題が残っていると考える②掲示板の活用は、今後検討したい③他区市の例もあり検討する。

## 道路整備計画について 市長の政治姿勢を問う

**問** 緑野小学校への通学路対策、特に市道32号線関連の整備の対応にかなり問題を残したが、その問題指摘の前にここ数年の市道整備は、市道総延長116kmのうち年平均0.7kmのみ、こうした実態を踏まえ、今後の市長の考え方、予算づけの方針はどうか問う。

## 放課後児童健全育成事業と保育所のあり方について

**問** ①答申書の取り組みについて②学童保育所6カ所のうち5カ所が定員割れしている状況について③小学生クラブの拡充策について④放課後クラブとフリープレイのおやつの問題を教育長と市長はどのように考えるか⑤国が19年度実施の放課後子どもプランについて。

**答** ①尊重する方向で努力②地理的なものや小学生クラブへの希望がかなり多いと推測③施設拡充を予定④違う歴史・伝統を持ち同じ場所に入っている。どちらをとるか引き続き検討課題と考える⑤都と各市の状況等を勘案し、関係部と今後の進め方について調整を図る。

## 安全・安心なまちづくりについて

**問** ①安全対策への課題や反省点と今後の取り組みは②情報共有システムによるメール配信だけでなく、犯罪状況を地域の掲示板に書き込んでの情報提供を③小学生のランドセルに「防犯ブザー携帯」というシール等を配布し、登下校時の犯罪に巻き込まれない対策を。

## いじめ問題について

**問** 「いじめは、いじめられる人も悪い」というのは間違い、いじめの側が100%、1000%悪い」という考えを大人が認識し、いじめを撲滅するという強い決意でさまざまな対策を講じられるように強く要望する。小・中学校でのいじめについて状況把握をしているか。

**答** 毎月行う生活指導主任会議がなければその実態が報告され話し合われる。特に問題な事例があれば、校長から教育委員会

指導室に直接報告があり、把握している。

## 学校給食について

**問** ①小学校の給食は楽しくおいしく食べられているか。また、好き嫌いをなく完全で食えるような環境づくりを②市長の公約である中学校給食の自校方式はなぜ方針転換されたのか③中学校給食について、ボックスランチ方式は一時的な対策なのか、永久的な考え方か。

## いじめめる側の子の心の闇を解決しなければ、いじめはなくならない

**問** 各地でいじめによる自殺が相次いだ。①狛江市教育委員会の対応は②各校の人權意識を重視した対応③スクールカウンセラーの回数増④心理専攻の学生・スーパーバイザーの起用など相談機能の充実⑤傍観者をつくらない教育⑥保護者との連携を望むがいかがか。

**答** ①危機意識を高め、学校と指導室が一体となって取り組んでいる②教師が人権感覚を磨き、子どもと信頼関係の中で向き合うことが大切③来年度教育相談員を1名増員④いろいろな制度を活用⑤具体事例で教えている⑥いじめ問題が発生しない学校づくりに協力を願う。

## 大場 てる子

**問** 生活者ネットが要望したマンモグラフィが04年度から導入された。国は受診率目標50%としているが、狛江市の現状は。検診車は平日のみ、昼休みを除くでは受診しにくい。日程・時間帯の工夫と周知、チェックモデル利用の自己検診など啓発を望むがいかがか。

## 池座 俊子

**問** ①夫などからの暴力DV経験者は、狛江市でも5年前に比べて22.7%から31.5%とふえており、どこにも相談できなかった人が57%もいる。相談窓口の広報を。②被害者を保護する民間シェルターへの財政的支援を。③デートDV防止教育を。

**答** ①狛江市、東京都等の相談窓口の周知などが一層必要と考える。②今後の状況を見ながら庁内で議論していく。③社会教育部としては検討はしていないが、どういう形であればできるか職員に話してほしい。

知を図っていく。

## ドメスティックバイオレンス(DV)根絶に向けて

**問** ①改正後サービス利用が制限され、不安の声を聞くが、介護度が下がった方の人数と対応は。②西河原公園のうらんど教室は高齢者だれもが参加でき、地域の指導者の養成も兼ねている。ほかの公園での実施は。③外出を支援する道路へのベンチ配置計画の進捗状況。

## 介護保険改正の影響と地域ケア体制の充実

**問** ①改正後サービス利用が制限され、不安の声を聞くが、介護度が下がった方の人数と対応は。②西河原公園のうらんど教室は高齢者だれもが参加でき、地域の指導者の養成も兼ねている。ほかの公園での実施は。③外出を支援する道路へのベンチ配置計画の進捗状況。

**答** ①10月末の対比で3000人。地域包括支援センターの専門職を中心に計画書を作成。事後評価をし、分析していく。②3年間の効果、評価を見きわめての方向性となる。3年間で確実な指導員養成に努力していく。③平成16年度、多摩川住宅